社会福祉法人　ボワ・すみれ福祉会

輝いて明日へ

２０２３．１．１３

法人理念

一人ひとりの命を大切にする
人権尊重の理念に基づいた
利用者支援を行い
誰もが豊かに暮らせる
地域社会をつくります

社会福祉法人　ボワ・すみれ福祉会
理事長　田部井　眞

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。
　本年もよろしくお願いいたします。

昨年も新型コロナウィルス感染防止対応に尽力いただきありがとうございました。本年も終息の兆しが見えませんが引き続きよろしくお願いいたします。

　新しい年を迎え、これからの会社について少し考えてみました。
　今の日本は、経済成長を遂げた結果として物質的に十分に満たされた世の中に到達しました。
人が求めるものも物質的なものから精神的なつながりへと求めるものが変化しつつあると思います。
　私たちの仕事は、言葉でコミュニケーションをとることができなかったり、十分に言語で意思を伝えることができないご利用者が多く、日々小さな変化に目を向けて意思の疎通を図ってきました。
まさに精神的なつながりの中で支援をしてきました。
　世の中が、やっと私たちが大切にしてきた、精神的なつながりを大切にすることに追い付いてきたのではないかと思っています。モノ消費からコト消費へと変わっていっていますね。心の満足が物を所有することから、精神的な体験や人とのつながりなどへ変化しています。

　会社のあり方を時代の流れに合わせようとしたときに、次の時代に向けて芯となる考え方を見直す必要があるのではないかと思いました。
　質の高いサービス、専門性の高いサービスそして利用者主体のサービスを提供することは、私たちにとっては当たり前のことです。これらのことは会社のあり方の基礎として普遍的なことと考えいます。そのうえでどのような会社、地域社会を求めていくのか考えてみたいと思います。
　コロナが終息した日常が早く訪れ、より豊かな時間を過ごすことができる年になりますように。

新規採用職員挨拶

初めまして新人の梶野萌々香（かじのもも か）です。(所属：花の郷)
出　　身：神奈川県です。
出身高校：神奈川県立中央農業高校園芸科学(野菜栽培を主に勉強していました。)
学生時代：中学は陸上部砲丸投げ・短距離走、高校は山岳部に所属し取り組みました。
　小さい頃から体を動かすことが好きで幼稚園生の頃から体操を 10 年間やっていました。そのおかげか中学生の時に県大会に行くことが出来ました。今でも体を動かすことが好きで筋トレ・ランキングをしたりしています。
　前職は、個人経営の農家さんの所で正社員として働いていました。次に、障害者施設で働き、たくさん学ぶことが出来たので良かったです。
趣味・実家に鶏がいるのでお散歩をしたり、今は鶏の小屋を作っています。
抱負・先輩たちに教えてもらいながら頑張って一人前になりたいです。

初めまして、石丸麻菜と申します。(所属：花の郷)
趣味は、デジタルでもアナログでも絵を描くことが好きです。
ほかにも切り絵をしたり、細かい作業から何かを作り出すことが好きです。
最近は運動不足を解消しようと思い、水泳を始めました。
以前運動をしようとジョギングを始めたのですが、3 日坊主となってしまったので、水泳を習慣にして、これからの趣味の一つにして、休日をアクティブに過ごせるようになれるといいなと思っています。
11 月に入社し、まだ二か月ほどですが、毎日いろんなことを感じ、学び、そして楽しく過ごさせていただいております。
一日一日があっという間で、毎日時間が足りません。
これからも日々学び、考え、少しでも早く信頼できる支援者になれるよう日々精進いたしますので宜しくお願い致します。

５月１６日付で入社いたしました、鈴木　香です。(所属：ボワ・アルモニー)
出身は秋田県大仙市です。
前職では、主に精神障がいの方を対象にした就労継続支援Ｂ型事業所で支援員の仕事に就いていました。
入職して半年が経ち慣れたこともありますが、毎日学ぶことがたくさんあると感じています。どんな声かけをしたら相手に伝わるのか、イレギュラーな場面ではどんな行動が適切なのか、どんな動きをすれば次がスムーズなのか、私自身の課題でもありますが、ルーティンではなく、考えて行動することがとても重要な仕事だと思っています。
失敗することもたくさんある毎日ですが、失敗を失敗で終わらせず、失敗を次につなげられるような人になっていきたいと思います。
これからも頑張っていきますのでご指導の程、よろしくお願いいたします。

生活介護　花の家

昨年に引き続き、コロナの影響を免れ得ない中で過ごした 2022 年が終わろうとしています。コロナ禍にあっては感染予防と安全を最優先せざるを得なかった一方、「心の健康」や「ＱＯＬ（豊かな生活）」とのバランスを取ることも心がけて運営してきました。

コロナ前と同じようにはいきませんが、秋の行楽シーズンには各担当が中心となって様々に工夫を凝らした行事を行いました。以下の報告をご覧いただき、2022 年の花の家の生活や活動の様子をご想像ください。

「表彰式」 山々が衣替えをする１１月１７日、花の家のホールにて２０２２年度の表彰式が行われました。今回は「花の家」のご利用者は７名、「クッカ広場」のご利用者は２名表彰されました。

永年通所３０年以上の方、２０年の方、１０年の方と一同に並ばれ、最初は緊張された面持ちでしたが、お花の贈呈の時は和やかな雰囲気になり、受賞された方達の表情が柔らかくなっていました。受賞者の方達より一言いただく場面では、これからの抱負や感謝の気持ちを述べたり表現され、皆さん凛々しく映っていました。

保護者の方から「この２０年を振り返り、毎日過ごしていたらあっという間だった」というお言葉がありましたが、これからも安心・安全・希望を持って過ごしていただけるように、より一層支援の質を向上させていきたいと感じました。

また、長年花の家に貢献してくださっているボランティア協力の方や、職員の表彰もあり、感慨深い式となりました。コロナ渦ではありましたが、多くの方が受賞され、表彰式が開催できたことを嬉しく思います。（宮本　翔）

「ホースセラピー」 暖かな陽射しを感じる１１月３０日。御殿場から２頭の馬が来て、初めてのイベント「ホースセラピーレク」が行われ、午前４名、午後４名の合わせて８名のご利用者が参加しました。

目的地に到着し目の前に馬とポニーが見えると「カッコイイー」「カワイイ」「楽しみだけどちょっとこわい、、、」などの声が出たり、表情がパッと明るくなるご利用者もいたりと、この日を待ち望んでいた様子が窺えました。

まずはホースセラピーの担当の方と挨拶をして、乗る前に馬と触れ合ったりして距離を縮めていきました。最初は緊張されている表情のご利用者も、頭や体を撫でていくと馬の優しさに触れ表情が穏やかになっていきました。

準備が整い、ホースセラピーレクの先生の指導の下、皆さん手綱を握り背筋をしっかりと伸ばし前を向き、凛とした表情で乗馬を楽しまれていました。中々関われない馬との交流は、普段の表情とは違うご利用者の様子が見られ、癒されていたことがよくわかりました。

最後に職員も乗馬体験させていただき分かったことですが、乗って指導を受けると「背筋が伸びる」「胸部や股関節が開く」「肩の力が抜ける」等の、「ホースセラピー」の効果を実感することができ、継続して開催していきたいと思いました。（宮本　翔）

「焼き芋パーティ」本格的な冬の訪れとなった12月1日、EFGグループ恒例の焼き芋パーティーが開催されました。全員で植え付け、草取り、収穫まで行った「紅あずま」の集大成となるこの企画、当日も各グループの選抜メンバーが午前中から下準備を頑張りました。
お昼過ぎ、ついに「紅あずま」が焼き上がりを迎えます。焼き方に工夫を加えた今年の焼き芋は過去最高の出来と評判に！！
会場となった「ぐるんぱ」には29人の美味しい笑顔が今年も見られました。（大橋正樹）

新しく迎える一年も、ご利用者に豊かな生活体験を提供できるよう努めてまいります。
2023年もどうぞ宜しくお願いします。（畠山史郎）

就労継続支援Ｂ型　クッカ広場

コロナ過の終わりが見えず、今年度も残念ながら研修旅行が中止となってしまいました。
11月少しでも気分転換を図れるよう、花の家施設を利用しお楽しみ会を開催いたしました。
もちろん、感染症対策を行いつつとなりますが、みんなでいっしょに食事をし、ミニゲームやビンゴ大会を楽しみ、お互いの笑顔を見ることができました。

また、12月初め恒例の小山田桜台の花壇植付けにも行ってきました。
作業中には複数の住民の方から「いつも綺麗な花壇をありがとうございます」とお声掛けもいただきました。ステキな花壇に仕上がるようみんなで頑張って植え付けを行いました。お近くにお寄りの際にはクッカ特製冬花壇を是非ご覧になってください！

リサイクル店舗では、12 月最後に半額セールを開催し、新年へ向け商品の入れ替えも行いました。
クッカ一同皆様のご来店を心よりお待ちしております！　(藤見　俊輔)

花の郷表彰式

花の郷では、ご利用者２名、職員7名が永年勤続表彰の対象でした。
今年度の花の郷の表彰式は感染対策のため、グループごとに企画しました。
通所スケジュールにより、同日開催はできませんでしたが、小さい集団でも、とびきり盛大に華やかにお祝いができるよう工夫しアットホームな温かい会を企画しました。
11月17日はＡグループで勤続30年のご利用者、12月27日にはＣグループの勤続10年のご利用者の表彰式をそれぞれ行いました。堂々とした様子で皆の前に出て長年花の郷で活動を積み重ねてきているたくましさを感じるひと時でした。これからも、花の郷で楽しく、元気に過ごしていきましょう。　(山之内　希己江)

クリスマス会

コロナ禍で迎えた２度目のクリスマス、残念ながら花の郷全員での開催は出来ませんでしたが、それぞれグループごとに趣向を凝らし、グループ室やホールを素敵に飾り付けしました。
クリスマス会の為に大きなダンボールにサンタやトナカイ絵を書いたり、グループ室やホールに暖炉を作りました。
当日はゲームをしたり、ケーキを食べて楽しく過ごしました。最後にはサンタも登場して皆さんにプレゼントを配りました。
朝からクリスマスムード全開の１日♡みなさんとても楽しく過ごしました。　(増田　あい)

新型コロナウイルスの感染拡大からほぼ３年がたち、出口の見えない閉塞感を抱え、世界に目を向けると平和を脅かす戦争等で不安の絶えない 2022 年が終わりました。2023 年こそは平和な日常に戻れるよう希望を持って新年を迎えました。
そんな中でのボワ・アルモニーの活動の一部をご紹介申し上げます。

アルモニー大運動会

10 月に快晴の空のもと、アルモニー大運動会を行いました。
今回は駐車場の一部を利用し「玉入れ」、パン食い競争ならぬ「お菓子食い競争」を行いました。
「玉入れ」競技では、驚異の 100 個超えの玉を入れたチームもあり、職員が玉の数をカウントするのに苦労しておりました。
「お菓子食い競争」では、ご利用者の皆様が工夫を重ね、首を真横に傾けながら食べようとする方もいる中、いきなり素手でもぎ取る方もいらっしゃったり笑いの絶えない競技になりました。
その後、室内に戻り、風船を使用した「風船送り競争」と「風船バレー」を行いました。
風船競技は一昨年の「アルモリンピック」でも大興奮の競技でしたが、今回の運動会でも必死に風船に食らいつく姿が印象的でした。
外出等の行事が出来ない状況の中での久々の屋外レクリエーションでしたので、伸び伸び体を動かされ、楽しまれていました。

お楽しみランチタイム

アルモニーでは、行事食やご利用者の誕生会を行っており、リクエストをお聞きして、そのメニューを提供しております。様々なリクエストがある中、印象的だったのは、アメリカンハンバーガーのリクエストで、調理職員も工夫しダイナミックに仕上げました。
また、毎月防災食を提供しています。BCP 計画を念頭におき、「非常用かまど」と「非常用電源」を使用して調理しています。

これまでもカレー、パスタ等様々なメニューを調理してまいりましたが、先日は松の内の１月４日にお雑煮を提供致しました。
外出が厳しい中、「ショクイクモニーツーリズム」と題して、ランチで旅を楽しみました。予め８つの地域の名物料理をご提示し、ご利用者の皆様に食べたい、行きたい場所を選んで頂き、５つの地域が選ばれ、５日間でご提供しました。スライドとアナウンスで地域の歴史や名物などをお伝えしながら、召し上がって頂きました。

法人表彰式

１１月１７日（木）午後より永年通所ご利用者表彰を行いました。
永年通所３０年１名、永年通所２０年２名いらっしゃいました。
コロナ禍の中、ご家族のご参加ができない状況ではありましたが、3 密を避けながらご利用者の皆様と職員でお祝いし、心温まる表彰式になりました。
アルモニーでは３０年以上通所されている方も３名いらっしゃいます。
ご家族が立ち上げられ、苦労を重ねながら今があり、繋がっていることを、強く心に刻みました。アルモニーがご利用者、職員にとって心地良い場所になるよう作り上げていかなければならないことを改めて感じました。
（津田　雄大）

児童支援部

ボワ・コンサール

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

ボワ・コンサールでは、幼児さんから、小学5年生までの児童が毎日元気に通ってきています。幼児さんは午前中からコンサールで活動をしています。天気のいい日は、公園等に出掛け自転車や遊具等で元気に体を動かして遊んでいます。午後からは小学生の児童も加わり、さらににぎやかになります。遊具のたくさんある公園に車で出かけ、アスレチックやブランコ遊び、砂場遊び等々、好きな遊び方でのびのびと過ごしています。

年齢の近い児童同士で遊ぶ児童も多いですが、高学年の児童が幼児さんを優しく手伝ったり、遊ぶ順番を譲ったりする心温まる場面もあります。

共同募金の期間には、募金箱を設置し募金箱にお金を入れ、職員が赤い羽根を渡しました。ご協力してくださった皆様ありがとうございました。　（宇野　敬）

ボワ・フルール

あけましておめでとうございます。本年も子どもたちと楽しく活動ができるよう努めていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します！

ボワ・フルールでは下校して、フルールに来所してから帰る時間まで活動時間は短いものの、おやつを食べて近くの公園に行くことが多くあります。滑り台やブランコなどの遊具遊びや鬼ごっこなど、体を元気に動かして遊んでいます。室内では、パソコンを使って好きなもの、興味のあるものを検索したり、好きな玩具で遊ぶなど好きな遊びを楽しんでいます。制作やクッキングなどの活動も設定していて、12月にはクリスマス制作で毛糸を使ったクリスマスツリーを作りました。作業に苦戦しつつも完成すると「できた！」「やった！」と嬉しそうな表情が多くみられました。今年も子どもたちが『できた！』『楽しい！』と思える活動ができればと思います。

最後になりますが、共同募金の期間には皆様より多くのご寄付をいただきました。ご協力していただき、誠にありがとうございました。

（渡邉千春）

ボワ・エール

あけましておめでとうございます。２０２３年もどうぞよろしくお願いいたします。

今回はボワ・エールでの日頃の活動をお伝えします。エールでは年間で数回、制作やクッキングを行っています。制作は季節行事に合わせて行います。同じ制作物でも、細かい作業が得意な子、大胆な色遣いが得意な子など、それぞれの個性に合わせて準備をすることでそれぞれに違う味わいの作品が出来上がります。

普段のおやつは花の家の厨房で作ってもらっていますが、クッキング活動では自分たちで包丁やホットプレートなどを使っておやつを作ります。お好み焼き、焼きそば、ピザトーストなど、出来立てを味わうことができます。「次はいつ？」「今日はクッキングです！」とクッキングを楽しみにしている児童は多く、毎回たくさん作ってもすぐになくなってしまうほどの大盛況です。

赤い羽根共同募金の期間にはたくさんの皆様からご寄付をいただきました。皆様の温かいお心遣い、誠にありがとうございました。

（上田哲明）

居住支援 グループホーム

ミニヨン　弁当＆花火レク

年間予定では「日帰り旅行」だったのですが、コロナウィルス感染症の状況により、中止せざるを得ませんでした。少しでも皆さんの笑顔が見たいので、９月 16 日(金)「さらば夏よ！地元名店弁当＆花火レク」と題し、レクリエーションを実施しました。
テイクアウトが出来る地元の名店「炭焼きハンバーグあらかると」に、ご自分で選んだお弁当を注文し、お弁当をいただきました。
その後、アイスクリームを食べて、花火をしました。少し風があり、花火になかなか火がつかず…とアクシデントもありましたが、夏を惜しみながら、おいしいお弁当＆花火を楽しみました。
コロナウィルスが一日も早く落ち着いて、皆さんで日帰り旅行に行ける日を心待ちにしています。

(白旗　敦子)

ボワ・すみれ福祉会後援会

会員を募集しております

本年度の寄付金交付事業

本年度の寄付金は、１２月１６日に櫻井会長より田部井理事長へ、花の郷償還金〔１４０万円〕と例年の寄付事業費〔３０万円〕を贈呈致しました。この様な取組が出来ますのも後援会にご協力下さいます皆様のおかげです。
会員の皆様に心より感謝申し上げます。今後ともご協力のほど宜しくお願い致します。
先に、報告いたしました「ありかた委員会」より、後援会活動への提案(案)を頂きました。仔細については後日ご報告させて頂きます。

クッカ広場の「ボワ・すみれ福祉会後援会販売コーナー」に、ご利用者ご家族様からの手作り品をご寄付頂き合わせてコーナーを飾り付け致しました。
皆様のご来店をお待ちしております。

編集後記
明けましておめでとうございます。
本年も、ボワ・すみれ福祉会の活動を、皆様に楽しくご覧いただけるよう努めて参りたいと思います。
２０２３年もよろしくお願いいたします。
（松浦綾子）

発行 社会福祉法人ボワ・すみれ福祉会　理事長　田部井 眞
東京都町田市下小山田町 3267-2
TEL：042-797-6004(代) / FAX：042-797-4824
E-mail：hananoie@poem.ocn.ne.jp
https://bowasumire.jp/